



板一中 小中一貫学びのエリア（板二小・板六小・板七小・板一中）



板二小ホームページ QR

板二だより

学校情報化優良校・ユネスコスクール認定校
板橋 i カリキュラム活用実践校（読み解く力）
小学校教科担任制等推進モデル校

令和6年5月31日
板橋区立板橋第二小学校

令和6年度6月号

学びは教室外でも

5月27日から29日まで、6年生の日光移動教室が行われました。また先月から今月にかけて、1年生が東板橋公園へ、2年生が地域の公園巡りを、3年生が消防署等の学校周辺を見に地域巡りをするなど校外学習が計画されていたり実施されたりしています。板橋第二小学校は、少人数の良さや立地条件（区役所 消防署 警察署 図書館 体育館 高速道路等見学場所が近くにあったり、3駅もが近くにあり、電車に乗って他区へ生活科・社会科見学に行きやすかったりするなど）の良さから校外学習をするのには大変恵まれています。

校外学習には、町探検、区内巡り、施設見学、社会科見学、生活科体験、宿泊体験学習などがあります。校外学習の目的は主に以下の3つがあると考えます。

- ① 実際に自分の目で見たり、触れたり、体験したりと様々な感覚を使って知る・理解する。⇒本物に触れる。生で見る。
- ② 見学や体験等を通して、新たな気付きや目標をもつ。
⇒キャリア教育に繋がったり、深い学びができたりする。
- ③ 集団での規律やマナーを身に付けることができる。
⇒社会性が身に付く。

①に関しては、やはり体験にまさるものはないといつも感じています。体験活動は子供の意欲を高め、理解を深めることができます。また③番目の「社会性が身に付く」ですが、子供たちが将来生活していくために、なくてはならないものだと思っています。学びのエリアの目指す子供像である「自律・自立」の上で大切なことであるとも言えます。いろいろな考えをもった人、知らない人の中で活動しなくてはならない場面が増えてきます。人は生まれたときから社会性を身に付けているわけではありません。いろいろな人と関わり合いながら、自分の気持ちや行動をわかってもらい、また相手の気持ちを理解できるようになり、互いにとって良いと思える方法を学んでいきます。校外学習をたった1、2回実施しただけで到底身に付くわけでもありません。学校で、家庭で、社会で、継続して働きかけ、経験させていく必要があると思っています。

話はかわりますが、教職員間やiCS委員会等地域の方々や板二小の子供たちについて話し合う時に出てくるのが、「板二小の子供たちは、挨拶がとてもよい。しかし、登下校時にこちらが挨拶すると挨拶をかえしてくれるけれど、高学年児童は声が小さいのと、自分からしてくれる子供が少ないのが残念である。」ということです。そこで5月中旬から教職員はアイコンタクトを重視し、あえて教師側から挨拶をせずに子供からの挨拶を待ってみることをしてみました。すると大多数の子供がアイコンタクトをし、自分から進んで挨拶を以前よりもするようになりました。学校では、ほんの些細なことかもしれませんが、できることからいろいろな手法を用いて指導にあたっています。

周年行事取組の紹介④「児童のスローガンについて」

担当・児童事業部

100周年という記念すべき今年度、全校でどのように取り組んでいくのかを考え、スローガンを作成しました。各クラスから出された意見を計画委員が整理し、まとめ、『伝統を受けつぎ、新たな一歩をふみ出そう』に決定しました。『伝統を受けつぎ』には、今まで板二小に関わってくださった方々に対する敬意と感謝の気持ちが、『新たな一歩をふみ出そう』には、「これからは私たちが新たな板二小を築いていく」という決意が込められています。今までもそしてこれからも子供たちが板二小を大切に思う気持ちが表れていると思います。このスローガンのもと、全校児童で100周年をお祝いしていきます。